

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

A-1. 理念、A-2. 目的、めざす学生像、学位授与方針

【確認1】	「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 聖和短期大学の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・キリスト教徒の少ない我が国で、聖和短期大学は「キリスト教主義に基づく教育をします。」と建学の精神と教育理念を明確にして、それを学生に理解しやすいように All for Christ 「キリストに心を向けて」や、Seiwa College for Christian Workers「キリストの働き人を育てる聖和」という言葉で表現していることは入学希望者や在学生に指針を与えていて好ましい。(評価者D)	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名		
【確認2】	「聖和短期大学の目的(Web サイト上)」は、A-2「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・キリスト教主義教育を、教育理念・目標を踏まえ、分かりやすく説明しており評価できます。(評価者A) ・人材養成・教育研究に関する目的を建学の精神・教育理念に則り、わかりやすく説明されており、とりわけ教育目標については、大学の特長を端的な表現により策定されている点は評価できます。(評価者C)	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名		
【確認3】	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「聖和短期大学の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名		
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・確認3の評価基準に「めざす学生像」と「学位授与の方針」は、…という記述がありますが、「めざす学生像」にかかる記載がありませんでした。よって、前者についてA-2との整合性、目的の実現に向けてふさわしい内容になっているかの点について評価できませんでしたので、2.にチェックしました。(評価者C)	
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。		
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント	
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・全教員が「資質の高い保育者の養成」という目的を明確に持ち、各教員が授業の中で努力している。(評価者D)	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名		
		3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 学位授与方針3. にかかる成果をどのような評価指標を用いて、測定されているのか参考のためにご教示いただければ幸いです。(評価者C)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 進路決定状況等により、学習成果の測定に尽力されていますが、就職後の評価等も参考にされることが望まれます。(評価者A) ・ 学位授与方針は各教科の成果点数に依るところであるが、学生にその関連性、必要性が十分に理解されているか疑問である。学生は教科毎の点数のみの理解で留まっていると推測される。(評価者D)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ 成果指標(評価指標)として就職指標のみが示されていますが、それ以外の学習指標を設定する必要があります。学位授与方針と関連性のある評価指標を開発する必要があります。(評価者B)
【確認6】	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 周知・公表方法として、「その他」にチェックを入れていますが、その具体的内容について、( )内に記載がありませんでした。どのような方法を用いているのでしょうか。(評価者C)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 「めざす学生像」は周知されていると思われませんが、自己の内面にキリスト教が身につけているのが問題点ですね。(評価者D)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ 「学位授与方針」は学院 Webサイト等で分かりやすく記載されていますが、「めざす学生像」については、未設定です。(評価者A)
【適切性の検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 検証手続として、学長室会にて事前に当該案件を検証・検討されたうえで、教授会に上程される仕組みを構築されている点は評価できます。(評価者C)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
【検証プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	検証プロセスは機能していると思われまます。先生も学生も喜びを持って授業に参加しているように思われまます。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 検証体制は整備されているようですが、改善成果のある検証プロセスの構築が求められます。(評価者B)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ 成果指標の把握等に基づく検討・改善策の作成が求められます。(評価者A)
【全体に対するコメント】		
・ ミッションスクールの最大の問題点は、非キリスト教国におけるミッションスクールの働きです。教員も学生も殆どノン クリスチャンノ所にミッションスクールの存在価値を見いださなければなりません。どのようにしたらミッションスクールの役割がはたせるのでしょうか？(評価者D)		

## A-3. 教育研究目標

【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 相応しい内容で目指す学生像に近づくことでしょう。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 新しいカリキュラムに向けた努力がなされており評価できます。「めざす学生像」は未設定です。(評価者A)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ カリキュラム改革、教員への教授内容への周知・徹底を通して、教育の質向上を意欲的に実施していく点はいへん評価できます。(評価者C) ・ 研究目標は教育の質の向上に役立っていることは好ましいと思われる。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 2名	ホームページ上の「情報の公開」で少し記載されていますが、積極的な公表が望まれます。(評価者A) ・ 「教育研究目標」は、周知・公表されていない覧にチェックされている。周知・公表されて初めて効果が出るもので、公表する方法を検討してください。(評価者D)	
【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 検証手続として、学長室会にて事前に当該案件を検証・検討されたうえで、教授会に上程される仕組みを構築されている点は評価できます。(評価者C) ・ 学長室会・教授会の決裁・承認を経て毎年1月に判断し、学長室会・教授会議事録に記録されていることは適切性が保たれていて好ましい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 検証方法など整理されている段階であると推察されます。検証プロセスを完成させ、機能させることが期待されます。(評価者C) ・ 目標を定め、成果を把握し、課題を整理自己点検し報告をしていることは最低限度として必要なことであり自己評価されている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 2名	・ 成果指標の把握等に基づく検討・改善策の作成が求められます。(評価者A) ・ 検証体制は整備されているようですが、改善成果のある検証プロセスの構築が求められます。(評価者B)
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【全体に対するコメント】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育研究目標については公表されていないようですが、教育情報の一つとして今後公表されることが期待されます。(評価者C)</li> <li>・ 目標を決め、公表し、自己点検するシステムはできているが、目標のレベルアップ、適切性、必要性などはどのように担保しているのか、そのシステムを明確にすることが望まれる。(評価者D)</li> </ul>		

## A-4. 教育課程の編成・実施方針

【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・ カリキュラムが組まれ整合性が保たれている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 「めざす学生像」が未設定である以外は、問題ありません。(評価者A)
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ 教育課程の編成・実施方針と学位授与方針、学生の受け入れ方針との関係が不明確のように思います。教育課程の編成・実施方針のなかに明記する必要があるように思います。(評価者B)	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。	
【確認2】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 適切な表現である。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	
【確認3】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ カリキュラムポリシーは、大学の特徴を捉え、教育内容(保育実践の基礎となる人間観、子ども観、教育・保育観)、教育方法(実習の重視、事前事後指導など)に関する考え方を明確に表現している点は評価できます。(評価者C) ・ 明確に示されている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。	
【確認4】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 適切な内容になっている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ 学位授与方針との関係が不明確であるように思います。(評価者B)
	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。	
【確認5】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 履修の手引きなどで周知公表されている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	適切性の検証体制を明確にしているか。	
【適切性の検証体制】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 教育課程の編成・実施の検証にあたり、学長室長をはじめ教務委員会、教育課程基本方針策定委員会の関係委員会による多角的な検証を経て、教授会で審議される体制はたいへん評価できます。(評価者C) ・ 明確にされている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	検証プロセスを適切に機能させているか。	
【検証プロセス】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 適切に機能している。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
【全体に対するコメント】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免許・資格取得率 90%を確保していることは評価できます。(評価者A)</li> <li>・ クリスマス・ノンクリスマスに対して、キリスト教主義に基づく教育が可能なのであろうか。勿論各教員はそれぞれ特色を持って居るであろうが、「信じる」という重要なポイントに関しては統一が取れていないと異なる態度を取ってしまう。ある幼稚園園長が退職する時に、「40年教えていて、キリスト教は信じられなかった…」と。学生にそれぞれ違う教科を教授していても、基本的なところでの一致が保たれていないと、学生は戸惑うのではなからうか。教員が「われ信ず」になれば一層素晴らしいのではなからうか。(評価者D)</li> </ul>		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

## A-5. 学生の受け入れ方針

	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	
【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 整合性が保たれている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ 学生の受け入れ方針と、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針との関係が不明確であるように思います。(評価者B)
	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	
【確認2】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 明らかにしている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	
【確認3】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 志願者増等に向けた地道な活動(推薦依頼校への訪問等)は評価できます。(評価者A) ・ 整合性が保たれている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	
【確認4】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 履修の手引きなどで周知・公表されている(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・ アドミッションポリシーは、学生募集に際しパンフレット、大学のホームページなどで公表され、自らも自己点検・評価されていると思いますが、チェック欄が空欄でしたので評価できませんでした。(評価者C)
	適切性の検証体制を明確にしているか。	
【適切性の検証体制】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 明確にされている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	検証プロセスを適切に機能させているか。	
【検証プロセス】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 機能されている。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
【全体に対するコメント】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の受け入れに向けて、全教職員で団結し、多くの高校を訪問する努力は評価できます。(評価者A)</li> <li>・ 文科省・厚労省・内閣府などで決められたルーチンシステムは良くできていると思う。(評価者D)</li> </ul>		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

## A-6. 学生支援に関する方針

	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	
【確認1】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・アドバイザー制度を設け、きめ細かい支援を行っていることは評価できます。(評価者A) ・「アドバイザー制度」が小グループ単位でおこなわれ、充実していて修学支援をしていることが素晴らしい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。  (下記のことが明らかであることに留意する。)	
【確認2】		
【確認2】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 上級生の経験を聴く時間等、学生の主体的な学習の場を整備していることは評価できます。(評価者A) ・ 学生が学習可能なようにアドバイザー制度や、奨学金制度が充実している。また種々のハラスメント防止の人権相談者などを配置して、初期の段階で援助するシステムが充実している。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ <修学支援>のうち、留年者及び休・退学者の状況把握と対処、および障がい学生に対する修学支援のための仕組み・体制、ならびに<生活支援>のうち、学生への案内にかかる項目にかかる支援のための仕組みや体制を整備についての記載のないので、これらの留意点に関する自己評価がされているか不明のため、2. にチェックしました。(評価者C)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	
【確認3】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・ 各年次における「就職支援プログラム」の実施、アドバイザーによる個別指導、ならびに進路支援を行う部署とアドバイザーの教員が協働する委員会体制を構築し、学生に対してきめ細かな支援を行っている点は大変優れています。(評価者C) ・ 進路を確保するために、詳細なところまで援助できる様に取り組まれているところが素晴らしい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・ 就職支援委員会や、就職支援プログラムによるきめの細かい進路指導は評価できませんが、就職先からの評価等を参考にした指導も期待されます。(評価者A)
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	
【確認4】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 担当教員とキャリアセンターが協力のもと「就職委員会や」「就職支援プログラム」を共有し、きめ細かい支援を全教員でしているところが素晴らしい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

【適切性の 検証体制】	適切性の検証体制を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・「学生支援に関する方針」は2015年第8回教授会で承認され、2016年4月1日から施行されようとしている。この点に期待したい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
【検証 プロセス】	検証プロセスを適切に機能させているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 2名	・「成果なし」のようであるが、現状を把握しているので今後適切に機能していくことを期待したい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・検証体制は整備されているようですが、改善成果のある検証プロセスの構築が求められます。(評価者B)
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 1名	・学生支援に関する方針にかかる適切性、検証体制について、学生支援ということで学生委員会が検証手続の主体となることは理解できますが、当該方針は修学支援、生活支援、進路支援と多岐にわたることから、学生委員会はもとより、教務委員会、就職支援委員会の関与について設定・確認シートから見えませんでしたので、3.にチェックしました。(評価者C)	
【全体に対するコメント】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教授会において、学期ごとに成績報告会を開催し、学生一人一人の成績を教員全員が共有し、修学支援に活かしていることは評価できます。(評価者A)</li> <li>・「周知・公表方法」のチェック欄が空白ということでの確な判断はできませんが、もし学生支援に関する方針、検証結果等を公表していないのであれば、適切な方法で周知・公表されることが期待されます。(評価者C)</li> <li>・今までは実施はしていたがシステムとして整備不足の点もあったのであろう。今後の運用に期待したい。(評価者D)</li> </ul>		

## A-7. 教員像、教員組織の編制方針

【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に求める能力・資質、姿勢等について、「教育者」「研究者」「組織構成員」「人」の категорияに分類し、記載されている点は他に類を見ません。ここまできめ細かな教員像を定めていることはたいへん優れています。(評価者C)</li> <li>・研究について、教員が専門とする分野、授業で教授している分野を深化する規定がある事が望ましい。(評価者D)</li> </ul>
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	
	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 3名	・学生にも掲示するなど広く公開している事により、学生が担当教師に相談できるし、教師の役割を理解する上で好ましい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 1名	・教員組織の編制方針において、スキル構成、責任体制に不明瞭な点があります。(評価者C)
3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名		

2015年度 関西学院大学自己点検・評価  
 <A票> 第三者評価結果 【聖和短期大学】

	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	
【確認3】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 教員にも理解しやすい方法で共有されているようで好ましい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	適切性の検証体制を明確にしているか。	
【適切性の 検証体制】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 4名	・ 適切性は通常の関係では見だせにくいので、定期的に検証していくことが好ましい。(評価者D)
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 0名	
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
	検証プロセスを適切に機能させているか。	
【検証 プロセス】	評価者による評価項目とチェックした評価者の人数	評価者コメント
	1. 適切な自己評価がされている …………… 0名	
	2. ほぼ適切な自己評価がされている …………… 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種成果指標の結果を十分吟味し、課題解決に向けた施策を打ち出されることが期待されます。(評価者A)</li> <li>・ 検証体制は整備されているようですが、改善成果のある検証プロセスの構築が求められます。(評価者B)</li> <li>・ 教員像のうち、(人として)の項目にかかる検証方法に不明瞭な点があります。(評価者C)</li> <li>・ 検証は「成果なし」と、又「改善・伸長に向けた計画は、無いと報告している」早急に計画することが望まれる。(評価者D)</li> </ul>
	3. 十分な自己評価がされているとは言えない … 0名	
【全体に対するコメント】		
・ 数力所は適切に評価していないようだが、全体としては適切に機能しているようである。(評価者D)		